

とよみかぐら  
豊実神楽と丸森町(姉妹都市)との  
交流(その2)

○山伏神楽との交流

豊実神楽は、その沿革から宮城県伊具郡丸森町の大内地区で伝承されてきた「丸森町無形文化財 おおつちやまじかくら 大内山伏神楽」を本家としています。昭和四十七(一九七二)年、「豊実神楽」として復活して以来、本家である丸森町大内地区を訪れ、また、大内地区から端野町(豊実地区)に来町され、相互交流が重ねられ、豊実神楽の充実に結びつきました。端野町の豊実神楽と丸森町の大内山伏神楽の主な交流の概要について記します。

(平成八年八月の姉妹都市締結まで)

○昭和四十七年四月

門間明氏外二名が大内地区を訪問し、舞や太鼓、笛などを学ぶ

○昭和五十九年一月

豊実神楽保存会(佐藤哲夫、柴山秀明、田中孝二の三氏のほか町職員一名)が大内地区を訪問、舞や太鼓、笛等を学ぶ

○昭和六十一年八月

大内山伏神楽保存会(太田一郎氏ほか七名)が来町し、舞、太鼓、笛を伝授、太陽まつりで大内山伏神楽を披露する

○昭和六十三年二月

大内山伏神楽保存会(梅津登氏ほか二名)が来町し、舞、太鼓、笛を伝授

○平成元年三月

豊実神楽保存会(石毛孝、佐藤哲夫、高橋勇男、横島忠雄、松山友広の各氏と町職員一名)が大内地区を訪問、舞、太鼓、笛を学ぶ

○平成三年二月

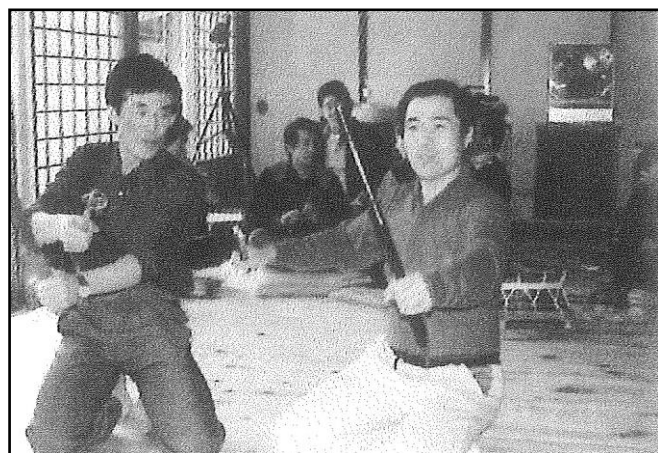
大内山伏神楽保存会(鈴木一郎氏ほか十三名)が来町、神楽の伝授、指導を受ける

○平成五年二月

豊実神楽保存会(石毛孝、高橋勇男、坂口成一、平川喜久夫、松崎常雄、横島忠雄、佐藤哲弘、松山友広の各氏と町職員一名)が丸森町を訪問、神楽の伝授、指導を受ける  
また「第七回仙南民族芸能鑑賞のつどい」に、豊実神楽が特別招待芸能として「法剣の舞」を披露する



大内山伏神楽保存会で舞を学ぶ



大内山伏神楽保存会での研修の様子

このような舞や太鼓、笛のほか大内山伏神楽の歴史や神楽保存会活動の実態も研修し、豊実神楽の神髄を確立し、「町民芸能祭」や「太陽まつり」に出演するとともに、平成九年(一九九七)九月、札幌市で開催された「北海道芸術祭」のほか「さっぽろ雪まつり」にも招待出演され、端野町郷土芸能としての「豊実神楽」の存在感を高められました。

現在においても、郷土芸能保存交流事業を通じて、小学生に豊実神楽の演舞や歴史を学ぶ場を提供し、豊実神楽の振興と普及、そして保存伝承に努められています。

なお、現在の豊実神楽保存会の会長は、高橋勇男氏で、会員は柴山秀明、松崎常雄、横島忠雄、田中孝二、佐藤哲弘、松山友広、平川千春、加藤貴善の各氏です。

## ○丸森町との交流

神楽を通しての丸森町との交流は、神楽以外の分野でも交流が年々深まりました。

端野町と丸森町が姉妹都市を締結する平成八（一九九八）年までの主な交流事業は、次のとおりでした。

○平成四年二月

端野町スポーツ交流大使として、端野町剣道スポーツ少年団十八名が丸森町を訪問、少年剣道交流

○平成四年七月

端野町ふるさと子ども交流事業で、小学生十四名、中学生二名、引率者三名が丸森町を訪問、ジュニアリーダーと交流

※この「ふるさと子ども交流事業」は、以後毎年実施し、平成十四年度からは隔年で実施しています。

○平成六年八月

丸森町から「第一回丸森町ふるさと子ども交流事業」で小学生十四名、中学生二名、引率者三名が端野町を訪問、端野町の子供たちと交流

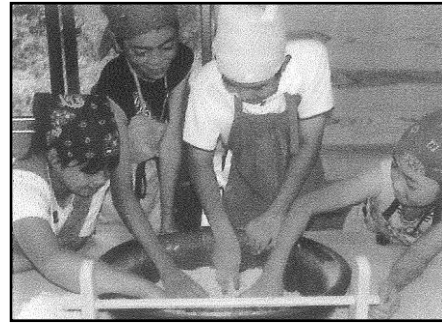
※この丸森町の「ふるさと子ども交流事業」は、以後、現在まで毎年実施され、端野町の子どもたちとの交流や様々な体験学習を行っています。

また、平成五（一九九三）年四月、端野町長と町議会議長が丸森町を訪問し、これまでの豊実神楽での交流指導やふるさと子ども交流事業でお世話になっていることへの感謝とお礼、今後の交流等について意見交換をしました。

これからも、住民や各種団体の自主的交流を基本とし、行政はこの交流を積極的に支援していく

ことにしました。

同年四月には、丸森町議会議員七名の方々が行政視察研修で端野町に来町され教育、文化交流に加え産業についても交流を深めていくこと等が話し合われました。



そばうち体験



カーリング体験

### ふるさと子ども交流事業

## ○端野町と丸森町との

### 姉妹都市の締結

平成八（一九九六）年、端野町は開基百周年を迎えます。この記念する年を端野町二世紀の出発

点として、活力とうるおいを生み出すまちづくり、人づくりに結びつく記念事業を策定するため、町民各層、団体の代表者による「ふるさと端野100年記念事業21人委員会」が組織され、町民の方々と諸団体の意見や要望を踏まえたうえに記念事業が策定されました。この記念事業の中で、「端野町と丸森町との姉妹都市の締結」が特別事業として行われることが決まりました。

この決定を受け、平成八年七月九日、端野町議会において「宮城県伊具郡丸森町と端野町が姉妹都市を締結する。締結日は平成八年八月十六日とする」ことが議決されました。

この議決を受け、同年八月十六日、端野町公民館において、丸森町から高野町長、議会議長外三十六名（うち大内山伏神楽保存会から二十一名）の方々が来町され「端野町、丸森町姉妹都市締結調印式」が行われました。

### 端野町・丸森町姉妹都市締結調印書

端野町と丸森町は心豊かな人づくりを願い信頼と友情をもって交流を深めてきました。両町は、この信頼と友情をさらに深め教育、文化、産業等の幅広い分野での交流が両町間の発展と繁栄に寄与することを念願し、ここに姉妹都市の締結を宣言します。

平成八年八月一日

端野町長 田中 誠  
丸森町長 高野正道

なお、丸森町での姉妹都市締結披露式は、同年十二月六日、端野町長、議会議長外十四名が出席し行なわれました。